

同一内容項目における生徒と保護者の比較（令和4年度末）

かつらぎ町立笠田中学校

1【学校生活について】

【生1】学校へ行くのが楽しい。

【保5】子どもは、楽しそうに学校へ通っている。

	生徒1		保護者5			
A とてもそう思う	43.8 %	87.5 %	20.3 %	82.1 %		
B まあそう思う	43.8 %		61.8 %			
C あまりそう思わない	11.7 %	12.5 %	11.4 %	16.3 %		
D まったくそう思わない	0.8 %		4.9 %			
E わからない			1.6 %	1.6 %		

肯定的な意見について、生徒の実感と保護者の捉えは同程度であるが、「A とてもそう思う」に23.4pの差があることから、保護者の求める「楽しい学校」については、質的な高さが求められていると考える。

2【学校の信頼度について】

【生7】先生たちは、わかりやすく、丁寧な授業をしている。

【生10】先生たちは、いじめやけんかなどで、私が悩んだり困っているときは助けてくれる。

【保3】子どもが、学習や生活について、先生に相談できる学校になっている。

	生徒7		生徒10		保護者3	
A とてもそう思う	43.0 %	92.2 %	48.4 %	95.3 %	12.2 %	71.5 %
B まあそう思う	49.2 %		46.9 %		59.3 %	
C あまりそう思わない	4.7 %	7.8 %	3.9 %	4.7 %	16.3 %	20.3 %
D まったくそう思わない	3.1 %		0.8 %		4.1 %	
E わからない					8.1 %	8.1 %

肯定的な意見について、生徒の実感と保護者の捉えに20p程度の差がある。特に「A とてもそう思う」に30p以上の差があることから、学校は生徒や保護者の気持ちに寄り添い、丁寧な説明をすることが求められる。

3【生徒の承認度について】

【生8】先生たちは、自分が努力したことを認めてくれる。

【保2】子ども一人ひとりが大切にされ、認められる学校になっている。

	生徒8		保護者2			
A とてもそう思う	39.1 %	94.5 %	14.6 %	80.5 %		
B まあそう思う	55.5 %		65.9 %			
C あまりそう思わない	3.1 %	5.5 %	13.0 %	15.4 %		
D まったくそう思わない	2.3 %		2.4 %			
E わからない			4.1 %	4.1 %		

肯定的な意見について、生徒の実感と保護者の捉えに14pの差がある。特に「A とてもそう思う」に20p以上の差があることから、1と同様に「子どもを認めてくれる学校」については、質的な高さが求められていると考える。

4【平日の家庭学習について】

【生5】平日、家庭での学習をしている。

【保7】子どもは、平日に家庭学習をしている。

	生徒5		保護者7			
A 60分以上	32.8 %	32.8 %	24.4 %	24.4 %		
B 30～60分	40.6 %	55.5 %	31.7 %	46.3 %		
C 0～30分	14.8 %		14.6 %			
D 0分	11.7 %	11.7 %	14.6 %	14.6 %		
E わからない			14.6 %	14.6 %		

60分以内の家庭学習について、中間評価では生徒と保護者の捉えに20p以上の差があったのが、10p以下に減少している。一方、平日に家庭学習をまったくしていない生徒が一定数あることは課題である。